

令和7年度 江東区立豊洲西小学校 経営計画

校長名 櫛田 光治

I 教育目標

人権尊重を基調とし、グローバルで多様性を尊重する共生社会に向けて、自己をみがき、人や地域、環境と豊かにかわり、希望をもって自ら未来を切り開くための資質・能力の育成を目指し、次の目標を設定する。

『未来を開く』 ○あかるい心 ○やさしい心 ○たくましい心

II 経営方針

目指す学校像	夢を育てる笑顔あふれる学校「みんながかがやく！みんなでかがやく！」 ○児童の夢を育む（知的好奇心・感動・満足感・達成感）学校 ○保護者・地域が信頼する（理解・協働）学校 ○教職員が誇りに思う（参画意識・互助補完・自己成長）学校
目指す児童像	○あかるい心 → 挑戦する 前向き・積極的に人・事にかかわる子 ○やさしい心 → 自他共に大切に 互いを大切な存在として尊重しあえる子 ○たくましい心 → あきらめない 失敗をおそれず、挫けずやりぬく子
目指す教師像	○児童一人一人を大切にし 心から愛情を注ぐ教師 ○志を高く自己研鑽に励み 互いに高め合う教師 ○児童・家庭・地域から 専門職として厚く信頼される教師
経営理念	本校の歴史と伝統を継承しつつ、開校10周年を機に、次代の豊洲西小学校の基盤を作る。「令和の日本型学校教育」を実践しつつ、特色ある学校教育を創成する。その中心はこどもたちと支える教師の成長である。 その実現のために次を重点に学校経営を進める。 ○チェンジ…これまでの教育の良さを生かしつつ、次代に向けて新しく変えていく。 ○チャレンジ…常にチャレンジ精神をもち、新しいことに挑戦し、全教職員が一丸となって取り組める経営をする。 ○スピード…こども、保護者、地域等 様々な状況や変化、要望等に組織的にスピーディに対応する経営を行う。 ○成果の見える経営…実践の結果を目に見える「カタチ」や「数値」で表わす。また、評価を大切にする。 ○地域に開かれた学校として、保護者や地域の人材を生かし、連携した経営を行う。 ○活力ある教員組織「チーム豊西」を作り、こどもも教師も夢を叶える学校を目指す。

III 経営目標

重点領域1		心の教育の充実（人権尊重の精神や人間関係構築力の育成）
中期経営目標	礼儀正しく、思いやりの心をもって人と関わるができる児童の育成	
短期経営目標	・児童相互、教員と児童との良好な関係による温かい学級づくりを進める。 ・自らすすんであいさつができる児童を育成する。 ・自分を大切にし、相手を思いやり、だれにでもやさしく接する児童を育成する。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	○自ら視線合わせてあいさつをし、特に感謝の気持ちを伝え、よいあいさつを価値付ける。	アンケート調査や日々の点検で「よいあいさつをしている」等の項目への肯定的な回答を95%以上にする。
2	○人権教育・道徳教育において自他を尊重する指導の充実を図るとともに、いじめ問題の未然防止・早期解決に努める。	アンケート調査や行動自己点検によって、「いじめはしない・させないようにしている」等への肯定的な回答を95%以上にする。
3	○発達段階に応じた挑戦・失敗、リーダー・フォロワーシップ等を体験・体感させる。	アンケート調査や行動自己点検によって、「やりたいことがある」「挑戦したことがある」等への肯定的な回答を90%以上にする。

重点領域 2		学ぶ力の育成（知的好奇心や思考力・判断力・表現力の育成）
中期経営目標	主体的・対話的で深い学びを実践し、ポイントを押さえた意図的・計画的な指導（「カリキュラム・マネジメント」）を実現し、「見合い学び合い」を校内研究・OJT研修と日々の指導で実践しながら、教育の質的向上を図る。	
短期経営目標	○主体的・対話的で深い学びに向けた授業づくりのポイントを理解し、実践する。 ○教科等の指導計画等をカリキュラム・マネジメントの視点で改めて見直す。 ○日々の指導に直結する校内研究・OJT研修を実施する。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	○児童が主体的に課題を設定し、友達と協働しながら解決策を見出す学習、見通しをもって学習を進める授業を展開する。	アンケート調査等によって、「学習の仕方が分かる」等への肯定的回答を90%以上にする。
2	○教師の専門性を生かした教科担任制、交換授業を積極的に行い、分かる授業、楽しい授業を実施する。	アンケート調査等によって、「学習が分かる・楽しい」等への肯定的回答を90%以上にする。
3	○ICTを活用し、自分の意見を持ち、友達と意見交流したり、発信したりする学習活動を実践する。	アンケート調査等によって、「意見を発表した・話し合う活動があった」等への肯定的回答を90%以上にする。

重点領域 3		健やかな体、たくましい心の育成（健康増進・体力向上、精神的なたくましさの醸成）
中期経営目標	体育授業や体育的な活動を充実させ、健康的な生活や運動に親しみ体を動かす習慣の形成・定着を図る。	
短期経営目標	○校内研究教科を「体育科」とし、体力スタンダードの実施・学習を充実させる。 ○体育館・温水プール・天然芝校庭等の有効活用により、体力向上を図る。 ○専門家や地域と連携した学習機会により、健康的な生活への意識等を高める。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	○運動特性に即したためあて学習・運動量を確保した授業を実施する。	アンケート調査等によって、「体を動かすことが好き・体育が好き」等への肯定的な回答を90%以上にする。
2	○児童が主体的に一定期間、運動に取り組む「〇〇ウィーク」等を実施する。	アンケート調査等によって、「運動に取り組む態度」の出現が80%以上にする。
3	○生活の実態アンケートや専門家・地域との連携による学習、参観の機会を設定する。	アンケート調査等によって、睡眠・栄養・運動などの重要性への理解について肯定的な回答を85%以上にする。

重点領域 4		地域に根ざす学校づくり
中期経営目標	家庭、地域に開かれ、信頼される学校づくり	
短期経営目標	○地域に親しみ、地域から学び、地域に貢献しようとする態度を育てる。 ○地域の教育力活用や地域行事への参加を通し、地域に根ざす教育活動を進める。 ○家庭・地域に教育活動を積極的に情報発信し、開かれた学校づくりを推進する。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	○教科等の特性や学年の発達段階等に応じて、意図的・計画的に地域学習を取り入れる。	アンケート調査等によって、学校や自分の住む街に対して肯定的に捉える児童を90%以上にする。
2	○地域に根ざす学校という自覚のもと、地域人材活用、保幼小中連携による教育活動を進め、児童に地域行事への参加を促す。	学校関係者評価、保護者アンケートの学校の情報発信に係る肯定的評価を90%以上にする。
3	○学校からの情報発信の基盤として、学校・学年だより、学校HP等を工夫・改善する。	